

水没で背丈伸ばす「浮きイネ」

名大、カギ遺伝子発見

【名古屋】名古屋大の学生物機能開発利用研究センターの芦刈基行教授らは、洪水に対応して背丈を伸ばす浮きイネの背丈の制御技術

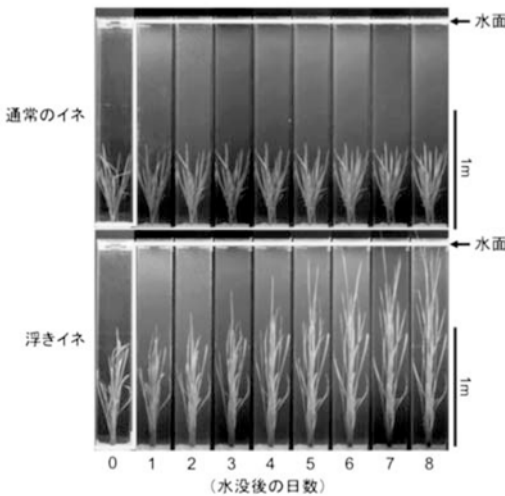
学的な特性を利用して、遺伝子の染色体上の位置を決める手法でSDIを発見した。浮きイネが水没するとガス状の植物ホルモ

1 遺伝子に働きかけ、植物ホルモンのシベリンが生産されて、背丈が急激に伸びる。浮分かった。

子「SDI」を発見した。洪水が続いても生存可能なイネ品種や、A) 配列と形質のデータ

とガス状の植物ホルモ

きイネのSDIたんぱ



普通のイネⒺと、水没すると急激に草丈を伸ばして生き延びる「浮きイネ」(名古屋大などの研究チーム提供)